



《2022-2023年度主題》

国際会長	K・C・サミュエル(IND) "Into the next 100 Years with FELLOWSHIP & IMPACT"
アジア太平洋地域会長	チエン・チ・ミン(TWN) "Elegantly Change with New Era"
東日本区理事	佐藤 重良 (甲府21) 「未来に向けて今すぐ行動しよう」
湘南・沖縄部長	小松 仲史 (厚木) 「楽しく・元気よく・前向きに」
クラブ会長	今城 高之 「楽しく、何はさておき楽しく！」

2022-2023 クラブ役員	
会長	今城 高之
副会長	
書記	岡田 美和
会計	横田 孝久

今月の聖句

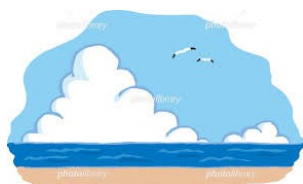
見よ、わたしはこの都に、
いやしと治癒と回復とをもたらし、
彼らをいやして
まことの平和を豊かに示す。
(エレミヤ33・6)

7月度本例会

日時 7月22日(金) 15:00～
場所 かけはし都筑
司会 辻Ts, 受付：今城H

～プログラム～

1. 開会点鐘 辻直前会長
2. ワイズソング・ワイズの信条唱和
3. 聖句と祈祷 相賀チャプレン
4. ゲスト・ビジター紹介
5. 会長引継ぎ・役員就任式
6. 新会長挨拶
7. 第1回 クラブ総会
 - ・前年度活動報告・会計報告
 - ・新年度会長主題と活動方針
 - ・クラブ役割分担等
 - ・年間行事予定
 - ・新年度収支予算(案)
8. YMCA報告
9. Happy Birthday
岡田美和(11日)、杉本千津子
(12日)、坂口直樹(17日)
今城高之(31日)
10. アピール他
11. 閉会点鐘 会長



《巻頭メッセージ》 新しい年度を始めるにあたり

2022-2023年度クラブ会長 今城 高之

この度、創立17年目を迎えるつづきクラブの会長に就任しました。クラブのチャーターメンバーで、設立3年目に1度目の会長を仰せつかり、今回で4度目の会長を務めることになりました。当時は現役を終えて間もなく、まだまだ元気なものでしたが、今月で80歳を迎える身にとっては、なかなか辛いものがあります。が、直前会長、前々会長はそれぞれ私より先輩だと思うと泣き言は言っておられません。

さて、私は、今年度の会長主題として、『楽しく、何はさておき楽しく！』をクラブメンバーに諮り同意を得ることが出来ました。あまりワイズの会長主題らしくないのご指摘も覚悟のうえで、この主題を掲げることとしました。

2年半に及ぶコロナ禍は我々のクラブにも多大な影響を及ぼし、ほとんどの活動が制限される状況に陥りました。メンバーのみんなとも会えない、楽しくおしゃべりもできない、額に汗してCSに励むこともできない、共に食卓を囲むこともできない、等々「できない尽くし」の日々が続きました。加えて、押し寄せる高齢化の波に抗うことは難しく、次第に「楽しかった！」が少なくなっています。しんどい辛かろうが、最後には「楽しかったね！」と言い合えるのがワイズの本来的な姿であると信じます。皆で話し合い、知恵を出し合って、みんなが参加して、最後には「楽しかったね！」と言えるようなプログラムを実践したいと思います。

そんなことを考えていたとき、先輩に進められて読んだ本に外山滋比古氏(文学博士)の「最高の雑談術」というのがありました。そこには我々のワイズ活動に役立つヒントがあるように感じました。外山氏はそれを「雑談のセレンディピティ」と呼んでいます。「セレンディピティ」と言うのは、科学の世界で、新しい発見を促す手法の呼称であり、意図しなかった偶然による発見のことを言います。例として、ペニシリンの発見者、フレミング博士(英)が挙げられます。実験中、蓋を閉め忘れた結核菌を培養したシャーレの中にゴミと共に飛来した土壌菌が繁殖して結核菌を死滅させたのを見て博士はペニシリンを発見したそうです。外山氏は、3名以上の人が集い、おしゃべり(博士は“乱談”と呼ぶ)を交わす中から、これまで埋もれていたような新しい考えや発見が飛び出してくるに違いないといえます。人の話の上げ足を取ったり、自説を頑と曲げない人はこのプロセスには不相当と外山氏が言うのがちょっと気にはなりますが、おしゃべりだいすきなメンバーが集う我がクラブには、願ってもない手法ではないでしょうか。今の技術をもってすれば、リモートでも可能かもしれませんが、お互い顔を突き合わせて語り合うのがよりよいと思います。コロナが下火になり、共に集えるようになった時には、是非、「乱談のセレンディピティ」を実践し、より活発な、より楽しいクラブ作りに資するいい考えが導き出されることを願って大いにおしゃべりをしましょう。(完)

横浜つづきワイズメン&ウィメンズクラブ ～ 2021-2022年度を振り返って～

2021-2022 年度 会長 辻 剛

1. 2021-2022年度活動報告

会長主題「弱者に寄り添う愛と奉仕の実践」

スローガン：「生涯現役」で楽しいクラブライフを！

昨年7月会長をお引き受けした際、私は上記の会長主題、スローガンのもと、今年度の「クラブ活性化！のための活動方針」として以下の5つの方針を掲げました。

- 方針1：素晴らしい卓話者を招聘し、魅力ある例会を！
- 方針2：既存活動の見直しと再稼働、対面活動ができなくても工夫しよう！
- 方針3：15周年記念事業として、財政基盤の強化のための企画や他団体・組織との共同事業を模索しよう！
- 方針4：5年後の2026年を目指して今年度から20周年記念例会の準備を開始しよう！
- 方針5：ウイズ・コロナ時代をにらんでオンライン・リモート方式の会議に習熟しよう！

以上の方針に対してこの1年どう対処したか以下振り返ってみたいと思います。

方針1：今年度は7回、皆様のご協力もあり延べ10数人の卓話者をお迎えました。

月	卓話者	テーマ
9	三森妃佐子先生	寿地区での奉仕活動
10	秋元晴美先生	聖書の日本語
11	若木部長公式訪問	
1	清水弘一氏、川上直哉氏、日野峻氏	3.11記念卓話
2	森山真二氏	スポーツ指導の現状と課題
3	林茂博氏、鈴木茂氏	区会長・役員研修会報告
4	堤ひろみ氏	私のオルゴール物語

形式は対面、ハイブリッド、Zoomと様々でしたが多くのビジターも参加されいづれも素晴らしい卓話だったと思います。方針通り素晴らしい卓話者を招聘し、魅力ある例会を開催できたと思います。

方針2：コロナ禍で現地訪問が叶わぬ中、「つばめの杜保育所」に対して、オンラインによる「リトミック教室」「絵本の読み聞かせ会」などのプログラムを提案しました。先方の同意を得てから具体的策を検討することになるが、具体化は現状からみて次年度

になる公算が大きいです。なお、YOU & I コンサートについては10回目になる記念演奏会の開催を模索しましたが今年度については中止としました。来年については状況が許す限り開催する方向で検討しており、既に会場の確保はできています。

方針3：クラブの活性化に繋がる共同事業を模索するべく他クラブとのDBCを提案しました。少子高齢化で会員が減少し、活動が停滞しているクラブが多い中で、DBCは両クラブに刺激を与え、お互いが検討しているプログラムなどに共同で取り組めることはまさに活性化につながると考えました。2月事務例会および5月の対面・事務例会で審議しましたが賛否両論あり全員のコンセンサスが得られず次年度への継続審議となりました。

方針4：本件に関しましては2026年に当クラブの20周年記念例会を実施することが決定されました。2026年は一つの通過点として今後も当クラブが持続的に活発な活動を続けていけるよう頑張りたいと思います。

方針5：今年度の全ての例会はハイブリッド方式又はZoom会議がほとんどで、当クラブは東日本区の中でもリモート・オンライン方式による例会開催頻度は高いと云えます。メンバーの皆さんも今やほとんどの方が違和感なくZoom会議に参加されています。PC、マイク、スピーカーなども揃えハード面でも充実化を図っています。しかしながら、まだまだ不具合が発生することもあります。卓話者の持ち込みPCの機種などについて事前に十分な打合せが大切な事を痛感しています。今後ともウイズ・コロナの時代にオンライン・リモート方式は引き続き利用頻度は高いと思われるので、その習熟に務めたいと思います。

2. 重点課題

重点課題として「会員増強活動」を掲げました。湘南・沖縄部の「会員増強計画」では、2022年12月末の当クラブの達成目標は20名です。今年度のスタート時の7月1日現在16名でした。今年度は6月に大野君枝さんが入会してくださり、一瞬1名増になったのですが、年度末に大変残念ですが林茂博さんが退会され増減0となりました。

3. 年間活動概要

2021-2022年度年間活動概要一覧は以下URLからご覧いただけます。 (完)

活動概要一覧：<https://drive.google.com/file/d/1hTILhMpGDDvx-zbikiSZI3e35sPBuH8b/view?usp=sharing>

《例会報告》

2022年6月度本例会報告

横田孝久

日時:2022年6月24日(金) 17:00~

会場:かけはし都筑

出席者:相賀、今城T、岡田、鴨下、鈴木S・K、

辻Ta・Ts、林S、横田

ビジター:若木一美湘南・沖縄部長

ゲスト:大野君枝さん(本日入会)

司会:今城高之、受付・報告:横田孝久

《議事プログラム》

1. 辻会長による開会点鐘の後、全員でワイズソング・ワイズの信条を唱和。

2. 相賀チャプレンによる今月の聖句(ローマ15・13)朗読と祈禱。

3. 会長挨拶

会長就任以来、コロナ禍であって、自分自身も透析などの治療を含め多難ではあったが、クラブの皆さんのお力添えを得てここまで会長職を務められたこと感謝です。本日は大野さんの入会式で新しいメンバーを得た事も感謝です。来期も今城会長とともにクラブの更なる発展を期待します。

4. 大野君枝さん入会式

辻孝子ワイズの紹介でこれまでクラブ例会に出席していた大野君枝さんが入会の意思を表明され、若木一美湘南・沖縄部長、鈴木茂EMC事業主査、辻孝子(紹介者)各氏の立ち合いの元、辻会長による式文朗読があり、大野さんが入会の宣誓を行ってめでたく入会の運びとなった。

会長によるバッジ装着、入会キット贈呈後、立会人を

代表して若木部長が歓迎の挨拶を行い、本人の入会挨拶があり行われた。記念撮影をして入会式終了。

5. 確認事項

社協の「善意銀行」配分金に「ついで」について、You & I コンサートの経費補填として申請をする事に決定。鈴木Sワイズに申請手続きをしていただくことになった。会長よりコンサートの運営費について行政の援助が得られないものか検討したいとの意見があった。

6. その他事項

- 1) クラブ関係では林 茂博ワイズの退会について東日本区に手続をおこなった旨、会長より報告。
- 2) 部関係では25日(土) 15:00~ZOOMにて部評議会が開催されるので会長より義務者は参加してほしいとの要請があった。
- 3) 区関係ではナイトフォーラムの件について報告があった。
- 4) YMCA関係では11月3日に北Yまつりを開催する旨の報告があった。

7. ハッピーバースデー

横田孝久さん(6/10) 大野君枝さん(6/21)にささやかなプレゼントを贈りHappy Birthdayを歌って祝った。

8. 行事予定

- 7月12日(日) 17:00~事務例会(都筑教会)
7月22日(金) 17:00~本例会(かけはし都筑)

9. 会長の閉会点鐘にて例会終了。



大野君枝さんの入会式

《例会報告》

2022年7月度事務例会

書記 岡田 美和

日時 7月22日(火) 17:00~18:30
 場所 田園都筑教会 (ハイブリッド方式)
 出席者

今城H・T、岡田、鴨下、鈴木K・S、辻Ta・Ts、横田
 ~議事概要~

1. 今年度会長を務める今城Tが就任の挨拶を行い、当面はコロナによる諸規制の中での会の運営を行うことになるため、全会員の協力をお願いした。
2. 協議・確認事項
 - 1) 今年度の会長主題とクラブ運営方針
 新会長が主題：「楽しく、何はさておき楽しく！」を示し、ここ暫くのコロナによる諸制限での活動の停滞を払拭すべく、安心と安全が確保できる範囲内でクラブメンバーが楽しいと思うような活動を進めたいとの所信を述べた。
 - 2) クラブ新体制並びに役割分担
 - ①前年度終了間際に異動があったため、今年度の副会長(次期会長含み)が決まっていない。少し時間をかけて選任することとなった。
 - ②同じく空席のクラブ監事は、昨年度に引き続き、辻Taが再度引き受けて下さった。
 - 3)横田会計より昨年度の決算報告があり、全員の了承が得られたので7月22日のクラブ総会に提案することとした。同じく、新年度予算案が横田会計担当より示され、全員の了承が得られ総会に提案することとなった。
 - 4)7月本例会について
 7月本例会では、クラブ総会の後、小松湘南・沖縄

部長を迎え、新役員の就任式並びに部長の公式訪問行事を行う。

3. 報告・アピール等
 - 1) クラブ関連
 7/20(水) 午前に「みんなの家」のPOPPYが開催され、引き続き、クラブのTKBのお仕事をを行う。
 - 2) 部関連
 7/15(金) に今年度第1回目のエクステンション委員会(辻Ts会長) が開催予定
 - 3) 東日本区関連
 7/15(金)にユース事業委員会が開催され、鈴木Sが区の主査として参加。
 - 4) YMCA関連
 「北Yまつり」を実施の方向で検討中。実施の際はつづきワイズの協力をお願いしたい。(館長)
4. 今後の行事予定
 7月度本例会 7/22(金) @かけはし都筑
 AIDS文化フォーラム 8/5(金)~8/7
5. その他
 - YMCAのユース事業とワイズの関りについて鈴木Sより提起があり、当クラブにおいても、ユースを取り込んだプログラムの実施について今後の課題とする。
 - 今城T会長より、今年度はみんなで話し合うクラブを目指したいとの意向が示された。「セレンディピティ」の実践を目指す。
6. 黙祷をもって閉会した。閉会后、一部参加者が久しぶりに(一心)にて細やかな懇親会(非公式)を開催。(以上)

2022-23年度主な行事予定

- 会長が提案した今年度の主な活動予定は次の通り；
- ①例会での卓話を、年間4-5回を目標に開催すべく、卓話者の発掘に努める。クラブメンバーの協力に期待。
 - ②7月本例会(7/22:クラブ総会併催)に湘南・沖縄部長の公式訪問が計画されている。
 - ③秋の一日バス旅行(移動例会)と春の富士山例会を合わせ、一泊二日の富士山例会を開催したい。
 - ④11月12日(土)に 第10回You

& I コンサートが計画されている。

- ⑤12月の事務例会時にクラブのクリスマス祝会を開催する。なお、本例会に替え、横浜YMCAクリスマス礼拝へ参加する。
 - ⑥1月本例会では第二回クラブ総会を併催する。
 - ⑦5月本例会の際、横浜北YMCA、つるみクラブとの三者合同懇親会を開催する
- ※以上の実施については新型コロナウイルスの感染状況等に細心の注意を払い最終決定するものとします。(編集子)

《2022-23年度当クラブの運営体制》

今年度のクラブの主な役割分担は次の通り；

クラブ会長	今城 高之
直前会長	辻 剛
書記	岡田 美和
会計	横田 孝久
監事	辻 孝子
チャプレン	相賀 昇

なお、副会長(次期会長含み)については今後協議して決定するものとした。

北 Y 便り

横浜北YMCAオルタナティブ部門 主任 関口 努



横 横浜北YMCAでは、今年度の運営方針に掲げている家族に寄り添うファミリープログラムの実施として、6月11日(土)から12日(日)の1泊2日で、「横浜北YMCAファミリーキャンプin三浦」を開催しました。横浜北YMCAの会員14家族、38名の申し込みがありました。

キャンプの会場は、三浦YMCAグローバル・エコ・ビレッジです。この4月より運営も再開され改装されたシーサイド施設での実施となりました。三浦YMCAには、ヒルサイドとシーサイドの宿泊、研修施設があります。シーサイドの施設は昨年度の休業期間中に改装工事も終わり、各部屋の内装は昔ながらの2段ベットがあり懐かしさを感じますが、ロビーやトイレ、お風呂、研修室、体育館などとてもきれいな施設に生まれ変わりキャンプを実施するうえでとても過ごしやすい環境となりました。

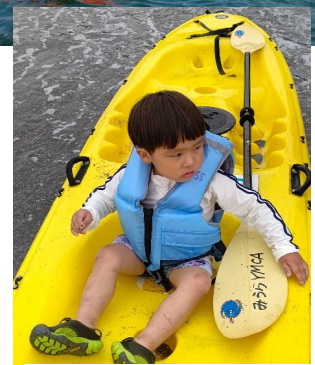
梅雨の時期でもあり天候がとても心配されましたが、両日とも天候に恵まれ海でのアクティビティ、カヤックや磯遊び、ヨットの体験を実施する事ができました。ヨット体験は三浦マリーナクラブの方々にもボランティアでご協力いただき出航させていただきました。海のプログラムは、天気にも恵まれても風が強すぎるとできない、風が無さ過ぎてもヨットが動かな

いなどありますが、キャンプ中の2日間は雨や風にも恵まれ実施できたことを感謝します。ヨット体験されたお父さんやお母さんにお話を聞きましたが、「スピード感もありとても爽快でした」、「水面がこんなにも近くおどろいた」、「エンジンが無いので音も静か」など初めて体感されたことの感想で聞けました。海のプログラム以外では、夜のバーベキューが盛り上がりました。準備から片付けまでスタッフ、リーダー含めみんな火起こし係、野菜を切る係、調理係など役割を分担し、焼きそばやお肉、野菜など食べ残しもなく楽しく終わりました。キャンプ最後のプログラムはビーチクリーンです。海の自然を守るために浜辺の清掃もしました。どんなゴミがあるのか、どんなものが浜辺に漂流するのかなどの学びもSDGsの取り組みを伝える中で実施しました。

キャンプ後には参加ファミリーにアンケートも実施させていただき、満足度も高かったことがうかがえます。コロナ禍で家族での出かける機会や宿泊なども控えておりとても楽しかったとの感想もいただいております。次回は、9月に2泊3日でのファミリーキャンプを予定しております。家族で寄り添う、家族に寄り添えるようにプログラムの準備をしていきます。今回、無事にキャンプが終えられたことをご報告します。



三浦YMCA
グローバルエコビレッジで海の楽しさを満喫するキャンパーたち。



6月のデータ

例会出席	12名	在籍会員数	16名	各種記録	月実績	年度累計
メンバー	10名	月間出席者数	12名	スマイル	0円	13,000円
ビジター	1名	メ-キップ	1名	-	-	-
ゲスト	1名	月間出席率	81%	-	-	-

《連載寄稿》

恥ずかしのワイン蘊蓄 ～10～

横田 孝久

今月は我が家近くの行きつけのレストランでワイン通の知人とシェフとでイタリア料理店ではありましたが、以前から話題にしていたボルドーのワインを持ち込みで飲み比べをしましたので、ワインの紹介や感想、その時の料理について紹介をしたいと思います。（本当はイタリアワインでないがダメですが特別許可を得て）

まず、ワインの名前は「シャトー・ソシアンド・マレ」です。1992年と2007年を飲みました。何故かと言うと、シャトーの主が代わっているけど伝統は守られているが、どのように違うのか楽しみだったのです。1992年のエレガントにはトンボが書かれており、2007年はエレガントの中央にはシャトーが描かれています。たまたま我が家のセラーに買い置きしていたもので、年代にこだわった訳ではありません。

このワインはメドック地区のオーメドックで、格付けには入っていません。葡萄はカルベネ・ソービニヨン55%、メルロー42%、カルベネ・フラン2%、残りの1%はあまり知られていませんがプティ・ベエルド（ボルドーではしばしばブレンド用として使用）です。

さて、このワインは格付けに入っていませんが、フランス本国のワイン愛好家からは格付けと同等と高い評価を得ている実力ワインです。ただ、自国の消費量が高く、毎年日本に入ってくるのはわずかという、知る人ぞ知るワインです。もし、今後格付けの見直しがあれば必ず3級以上に名を連ねると言われています。

畑はサン・ステフの隣のサン・スランド・カドレフ村にあって、日照量も豊かで砂利の多い土壌で水はけがよく素晴らしいテロワールに存在しています。しかも、ボルドー地区では蜜植栽培といって、地中深く根を張る事を競い、勝ち抜いたブドウを使って、昔からのボルドーファンに愛され続ける、古典的なワインの表現者です。

その表現者は1600年代、バスク地方出身のソシアンド家で、ある大司教の援助で建てられた邸宅でそこから名前が付けられました。フランス革命までの間はあまり明らかにはされていませんが、1793年の国民公会で拘束された弁護士で後のボルドー市長になる人が一時住んでいましたが、

19世紀半ば、マダム・マレがこの地を購入しました。そして、「マレ」の名がシャトー名に付け加えられて、1876年から現在に至るまで、複数の所有者によって引き継がれてきました。そして、1969年にジャン・ゴートロがこの地を手に入れた時は5ヘクタールほどの畑と荒れ果てたシャトーでしたが、彼の尽力によって今に至っています。伝統を守ってワイン造りにこだわって、タンニンが強めで骨太で、人によっては「何年も寝かせておく代物」と言われてもいますが、あまり年代にこだわらず早くも楽しめると考えます。

前置きが長すぎましたが、1992年はコルクも少し傷んでいたのでデカンタしました。すぐにテスティングをしたところ、フルーティーで酸味も少しあって、タンニンもしっかりありましたが、時間が経つにつれ、フルーティーさとタンニンが抜群に絡み合っただけの中がふわーとしました。その間に2007年を抜栓しておきました。

最初に小生の大好きな兵庫県淡路島の「新たまねぎ」を炭火焼で、オリーブオイルとブラックペパーをかけ食べました、これ抜群のマッチングです。その後マグレカナルの炭火焼（鴨のもも肉）です。これがまたなんともイタリアワインではないですが、このワインにピッタリでした。そして、自家製のショートパスタ・フジツリをチーズソースで食しました。

2007年は最初は酸味が鼻にツンと来たのもつかの間すぐに消えてタンニンの芳醇な味と喉ごしの良さでいっきに空けてしまいました。比べてみると、さすが造り手の意思が伝統を重んじて、澱（おり）引きや濾過処理を行わず造られたシロモノでした。機会があれば又飲んでみたくなりました。価格的にはそんなに高いワインではないので大丈夫かな。

小生は蘊蓄を言うつもりも知識も無いので、いつも楽しくワイワイやれば良いと言ってきました。こだわりはありません。ただ、せっかくなので飲み比べが出来た幸せに巡り合ったことに感謝でした。楽しさと面白さとワインの生きている姿の変化が理解できる機会はあまりありません、まだまだ経験不足ですが、残りの人生にワインの生き様と同じように磨きをかけなければと思って、今宵もちよっと飲んでみます。今月はここまでで失礼します。（2022.7）



▽▽▽編集後記△△△
 ▼いよいよ新年度を迎えることになり、クラブ役員、メンバーの担当などが変わります。前年度の社長並びに役員の皆様、ありがとうございました▼とはいえ、極限られたメンバーしかいない当クラブでは、留任、再任はざら。引き続きよろしくお願ひします▼当ブリテンの編集担当も変わることはありません。マンネリ化を排すべく皆様の忌憚ないご意見、ご感想を改めてお願いする次第です▼今や本誌の看板とさえいふべき連載寄稿「恥ずかしのワイン蘊蓄」は回を重ね今号で10回目を数えるに至りました。洒落な筆致ながら蘊蓄の範疇を超えた本稿を楽しみにしている読者も多いと聞きます。筆者に感謝▼今年度の本誌のテーマカラーはグリーンにしました。読後に爽やかさを感じて頂ければと思ってます。（編集子）